

授業科目	*看護のための臨床検査				単位	1		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護)		ナンバリング	NU11108J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1			
担当教員	高橋 甲枝、財津 倫子、中原 智美							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>臨床経験を有する教員が、看護に必要な臨床検査について講義・演習を行う。</p> <p>臨床検査は、診断の確定、重症度の判断、治療効果の判定などのために行われる。</p> <p>検査の目的、実施法、看護上の注意点について、検査内容と疾患のつながりを系統別に解説する。</p> <p>これらの検査で得られたデータを用いてアセスメントするための能力を養ない、疾患および薬剤使用との関係を学ぶ。さらに、心電図などの演習で看護師役・患者役を体験することで、患者への説明や心理面に配慮した看護について学ぶ。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主要な検査の目的と意義を説明できる。 2. 主要な検査実施時の看護師の関わり、注意点を述べるができる。 3. 事例を用いて検査結果のアセスメントができる。 4. 体験をとおして患者の心理を理解し、看護師の声かけ、配慮について述べるができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	30	10	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	20	30	5				55	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	40		5				45	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルに加え、検査データを的確にアセスメントし、検査データから患者の病態を正しく把握して看護診断を考えることができる				主要な臨床検査の目的、実施法、データの意味、看護の注意点を理解し、患者に説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:臨床検査の意義と目的 (高橋) 臨床検査の目的と意義、臨床検査の流れ 臨床検査の種類			講義		当該部分の予習と復習		60

	基準値と異常値			
2	テーマ:血液学的検査と一般検査(高橋) ・血液学的検査(血球算定、生化学、ホルモン、腫瘍マーカー、免疫、感染症など) ・一般検査	講義	当該部分の予習と復習	60
3	テーマ:画像検査(外部講師) ・放射線を用いる検査、MRI、核医学検査	講義	当該部分の予習と復習	60
4	病理学的検査と看護(高橋)	講義	当該部分の予習と復習	60
5	テーマ:消化器系検査(財津) 消化管の検査(画像、造影検査、内視鏡検査、超音波検査(エコー))	講義、小テスト	当該部分の予習と復習	60
6	テーマ:循環器系検査(財津) ・画像、ECG[モニター、12誘導、ホルター]、エコー、心臓カテーテル検査	演習	当該部分の予習と復習	60
7	テーマ:呼吸器系検査(財津) ・画像、呼吸機能検査(スパイロメトリー、動脈血ガス)、気管支鏡検査、胸腔穿刺)	講義、小テスト	当該部分の予習と復習	60
8	テーマ:内分泌・代謝系検査(中原) ・血液検査[ホルモン血中濃度、血糖値、75gOGTTなど]	講義、小テスト	当該部分の予習と復習	60
9	テーマ:検査時の看護 患者体験(財津、中原、高橋)	講義、小テスト	当該部分の予習と復習	60
10	テーマ:乳腺外科系検査(高橋) ・マンモグラフィー、エコー検査、細胞診・針生検、CT、MRI	講義、小テスト	当該部分の予習と復習	60
11	テーマ:脳神経系検査(高橋) ・脳脊髄液検査、脳血管造影、CT、MRI、脳波	講義、小テスト	当該部分の予習と復習	60
12	テーマ:整形外科系検査(高橋) ・X線検査、CT、MRI、骨シンチグラフィー、骨密度	講義、小テスト	当該部分の予習と復習	60
13	テーマ:血液内科系検査(中原) ・血球検査、出血傾向、骨髄穿刺検査、輸血のための検査	講義、小テスト	当該部分の予習と復習	60
14	テーマ:腎・泌尿器系検査(中原) ・画像、エコー、膀胱鏡検査、生検	講義、小テスト	当該部分の予習と復習	60
15	テーマ:皮膚科・耳鼻科・眼科系検査(中原) ・アレルギー検査、聴覚検査、視覚検査、眼底検査など	講義、小テスト	当該部分の予習と復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>これまで学んだ、看護形態機能学、疾病学、基礎看護学での知識を整理してから授業に臨んでください。病態を理解するためには、臨床検査のデータを根拠として考えることが必要になります。</p> <p>授業では教科書を使った講義とともに、検査の様子をDVDで供覧します。</p> <p>また、心電図の演習をとおして、看護師として患者への説明を実践したり、患者役の体験をしたりすることで患者への心理的な配慮を学んで欲しいと考えています。</p> <p>実習室の都合などで、授業の順序が入れ替わることがあります。授業中にお知らせします。</p>			
テキスト	<p>藤田浩(監):見てできる臨床ケア図鑑 臨床検査ビジュアルナーシング. 学研メディカル秀潤社. 系統看護学講座 成人看護学 2.3.4.5.6.7.8.9.11</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>系統看護学講座 臨床検査. 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 10.12.13.14. 講義では、資料プリントを配布します。また、随時、参考図書について提示します。</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>講義は教科書に沿って行いますので、該当する箇所を予習するとともに、講義後は配布資料なども用いて復習をして下さい。</p> <p>2年生後期より、さまざまな領域の方法論においても疾患の診断に必要な検査を学びます。</p> <p>その際は、テキストにもどり、確認することで理解が深まります。</p> <p>積極的な姿勢を期待します。</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>定期試験 60%、講義終了時に行う講義内容の小テスト 30%、演習前後の提出物 10% で評価を行います。</p> <p>血液学検査の目的・基準値・疾患について理解を深める目的で確認テストを毎回実施します。</p>			

